



Storage VM 管理

Amazon FSx for NetApp ONTAP

NetApp
September 02, 2024

目次

Storage VM 管理	1
Storage VMを別のFSx for ONTAPファイルシステムにレプリケートする	1
Storage VMのActive Directoryの設定と更新	2
Storage VMタグの編集	3
Storage VMを削除します	3

Storage VM 管理

Storage VMを別のFSx for ONTAPファイルシステムにレプリケートする

ストレージVMを別のFSx for ONTAPファイルシステムにレプリケートすることで、データ損失時のデータアクセスを保護することができます。この処理では、あるStorage VM内のすべてのボリュームが別のFSx for ONTAPファイルシステムにレプリケートされます。

開始する前に

Storage VMを別のFSx for ONTAPファイルシステムにレプリケートするには、次の作業が必要です "[リンクの関連付け](#)"。既存のリンクがない場合は、"[リンクの作成](#)"を参照してください。ファイルシステムにリンクを関連付けるには、[アカウント名]*の[リンクの関連付け]*をクリックします。リンクが関連付けられたら、この操作に戻ります。

手順

1. にログインします。 "[Workload Factoryコンソール](#)"
2. [Storage]で、*[Go to storage inventory]*を選択します。
3. FSx for ONTAP タブで、レプリケートする**Storage VM**があるファイルシステムの**3つ**のドットメニューを選択し、[管理]*を選択します。
4. ファイルシステムの概要で、*[Storage VMs]*タブを選択します。
5. [Storage VM]タブで、SVMをレプリケートするStorage VMの**3つ**のドットメニューを選択します。
6. [Storage VMのレプリケート]*を選択します。
7. [Create replication]ページの[Replication target]で、次の情報を指定します。
 - a. * FSx for ONTAPファイルシステム*：対象となるFSx for ONTAPファイルシステムのクレデンシャル、リージョン、FSx for ONTAPファイルシステム名を選択します。
 - b. * Storage VM名*：ドロップダウンメニューからStorage VMを選択します。
 - c. ボリューム名：ターゲットボリューム名は次の形式で自動的に生成されます
{OriginalVolumeName}_copy。
 - d. 階層化ポリシー：ターゲットボリュームに格納されているデータの階層化ポリシーを選択します。

Auto は、Workload Factory FSx for ONTAPユーザーインターフェイスを使用してボリュームを作成する場合のデフォルトの階層化ポリシーです。ボリューム階層化ポリシーの詳細については、AWS FSx for NetApp ONTAPドキュメントのを参照してください "[ボリュームのストレージ容量](#)"。
 - e. 最大転送速度：* Limited *を選択し、最大転送速度をMB/秒単位で入力します。または、*無制限*を選択します。

制限がないと、ネットワークとアプリケーションのパフォーマンスが低下する可能性があります。また、FSx for ONTAPファイルシステムは、主にディザスタリカバリに使用されるワークロードなど、重要なワークロードには無制限の転送速度を推奨します。
8. [Replication settings]で、次の情報を指定します。

- a. レプリケーション間隔：ソースボリュームからターゲットボリュームにSnapshotを転送する頻度を選択します。
- b. 長期保存：オプションで、長期保存用のスナップショットを有効にします。

長期保持を有効にする場合は、既存のポリシーを選択するか、新しいポリシーを作成して、レプリケートするSnapshotと保持する数を定義します。

- i. [Choose an existing policy]*で、ドロップダウンメニューから既存のポリシーを選択します。
- ii. [新しいポリシーを作成する]*に、次の情報を入力します。
 - A. ポリシー名：ポリシー名を入力します。
 - B. * Snapshotポリシー*：表で、Snapshotポリシーの頻度と保持するコピーの数を選択します。Snapshotポリシーは複数選択できます。

9. [作成 (Create)]をクリックします。

結果

Storage VM内のすべてのボリュームがターゲットファイルシステムにレプリケートされます。

Storage VMのActive Directoryの設定と更新

FSx for ONTAPファイルシステムでStorage VMのActive Directoryを設定および更新します。

タスクの内容

Storage VMのActive Directoryの設定と更新も同じ手順です。

手順

1. にログインします。 "[Workload Factoryコンソール](#)"
2. [Storage]で、*[Go to storage inventory]*を選択します。
3. FSx for ONTAP タブで、更新する**Storage VM**があるファイルシステムの**3つ**のドットメニューを選択し、[管理]*を選択します。
4. ファイルシステムの概要で、*[Storage VMs]*タブを選択します。
5. [Storage VM]タブで、Active Directoryを設定するStorage VMの**3つ**のドットメニューを選択します。
6. [AD構成の管理]*を選択します。
7. [Manage AD configuration]ページで、次の情報を指定します。
 - a. 参加する**Active Directory**ドメイン: Active Directoryの完全修飾ドメイン名(FQDN)を入力します。
 - b. * DNS IPアドレス*：IPアドレスを3つまでカンマで区切って入力します。
 - c. * SMBサーバのNetBIOS名*：Storage VM用に作成するActive DirectoryコンピュータオブジェクトのSMBサーバのNetBIOS名を入力します。Active Directory内のこのSVMの名前を指定します。
 - d. ユーザー名：既存のActive Directory内のサービスアカウントのユーザー名を入力します。

ドメインのプレフィックスまたはサフィックスは含めないでください。の場合は EXAMPLE\ADMIN、を使用し `ADMIN` ます。

e. パスワード：サービスアカウントのパスワードを入力します。

f. 組織単位（OU）：組織単位を入力します。

OUは、ファイルシステムに参加する組織単位の識別パス名です。

g. 委任された管理者グループ：必要に応じて、委任されたファイルシステム管理者グループを入力します。

Deleted Administratorsグループは、ファイルシステムを管理できるActive Directory内のグループの名前です。

AWS Managed Microsoft ADを使用している場合は、AWS Delegated FSx Administrators、AWS Delegated Administratorsなどのグループ、またはOUに権限を委譲されたカスタムグループを指定する必要があります。

自己管理型ADに参加する場合は、AD内のグループ名を使用します。デフォルトのグループはDomain Admins。

8. [適用（Apply）] をクリックします。

Storage VMタグの編集

タグは、リソースを分類するのに役立ちます。Storage VMのタグはいつでも追加、編集、削除できます。

手順

1. にログインします。 "[Workload Factoryコンソール](#)"
2. [Storage]で、*[Go to storage inventory]*を選択します。
3. FSx for ONTAP タブで、更新する**Storage VM**があるファイルシステムの**3つ**のドットメニューを選択し、[管理]*を選択します。
4. ファイルシステムの概要で、*[Storage VMs]*タブを選択します。
5. [Storage VM]タブで、タグを編集するStorage VMの**3つ**のドットメニューを選択します。
6. [Storage VMタグの編集]*を選択します。
7. [Storage VMタグの編集]ページで、タグを追加、編集、または削除します。

Storage VMに適用できるタグの最大数は50です。

8. [適用（Apply）] をクリックします。

Storage VMを削除します

不要になったStorage VM（SVM）をFSx for ONTAPファイルシステム構成から削除する。

開始する前に

Storage VMを削除する前に、次の点を確認してください。

- SVM内のデータにアプリケーションがアクセスしていないことを確認します。
- SVMに接続されているルート以外のボリュームをすべて削除します。

手順

1. にログインします。 "[Workload Factoryコンソール](#)"
2. [Storage]で、*[Go to storage inventory]*を選択します。
3. [FSx for ONTAP]タブで、更新するファイルシステムの3つのドットメニューをクリックし、[管理]*を選択します。
4. ファイルシステムの概要で、*[Storage VMs]*タブを選択します。
5. [Storage VM]タブで、Active Directoryを設定するStorage VMの3つのドットメニューを選択します。
6. [Storage VMの削除]*を選択します。
7. [Delete Storage VM]ダイアログで、「delete」と入力してStorage VMを削除します。
8. [削除（ Delete ）]をクリックします。

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。